

社会資本総合整備計画（第5回変更）

モリヤマチュウシンシガイチチク
(守山中心市街地地区)

シガケン モリヤマシ
滋賀県 守山市

平成25年7月16日

都市再生整備計画（第5回変更）

もりやまちゅうしんしがいちちく
守山中心市街地地区

しがけん もりやまし
滋賀県 守山市

平成25年7月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	滋賀県	市町村名	守山市	地区名	モリヤマチュウシンガイチ 守山中心市街地地区	面積	146 ha
計画期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度	交付期間	平成 22 年度 ~ 平成 25 年度				

<p>目標</p> <p>基本理念:『絆と活力ある「共生都市」の創造』</p> <ol style="list-style-type: none"> 子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち 住民参加により、地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち
<p>目標設定の根拠</p> <p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ol style="list-style-type: none"> <p>・中心市街地では、人口が増加しており、年齢別人口分布としては30代～40代の子育て世代や65才以上の高齢者世代が多い状況です。市民を対象に行ったアンケート結果では、充実すべき都市機能として「図書館等の文化施設」(36.5%)、「高齢者福祉施設」(36.3%)、「子育て支援施設」(26.8%)が挙げられており、教育文化機能や子育て支援の充実、更には高齢者福祉施設を求める声が高くなっています。</p> <p>・中心市街地では、商店数、商業従業者数、年間商品販売額、売場面積が減少し、また、空き店舗率が高くなっているなど、商業機能が低下しています。市民を対象に行ったアンケート結果では、通勤・通学以外で中心市街地を訪れる理由として「買い物」(75.5%)が挙げられており、「買い物」で中心市街地を訪れる人が多い状況です。</p> <p>・中心市街地では、新規住民世帯の割合が7割を占めており、新規住民と既存住民、および新規住民同士の間関係の希薄化によるコミュニティの衰退や地域力の低下が懸念されます。</p> <p>・中心市街地には、中山道をはじめ勝部神社、源内塚など歴史的資源が数多く残っていますが、市民が回遊するまでには至っていません。中心市街地内のマンション住民を対象としたアンケート結果では54%の方が中山道を散策したことがないと答えています。また、中心市街地には多くの小河川がありますが、土砂上げ場程度の整備状況で小河川沿いを連続して歩ける状況ではありません。市民を対象にしたアンケート結果では、中心市街地で充実すべき機能として「スポーツ健康施設」(40.8%)が挙げられており、市民の健康に対する意識が高くなっていることが伺えます。近年ではウォーキングで歩く人が増加していますが、「車を気にせず、歩ける道がない」「楽しく、歩ける道がない」との意見を多く聞く状況であり、安全・安心に歩ける基盤整備が整っていません。</p> <p>中心市街地活性化基本計画が、平成21年3月27日付けで内閣総理大臣の認定を受ける。</p> <p>課題</p> <ol style="list-style-type: none"> <p>・30代～40代の子育て世代を対象とした教育文化施設が必要であるほか、高齢者向けの福祉機能の充実が必要です。更に20～30年先には、現在の子育て世代が一気に高齢者となるため、将来を見据えて、福祉機能の充実に現地点から取り組み、「歩いて暮らせるまちづくり」を実現することが必要です。</p> <p>・65才以上の高齢者世代の居住者が多いことから、中心市街地内で身近に歩いて買い物ができる都市環境の整備が必要です。</p> <p>・新規住民と既存住民および新規住民同士の交流を深める仕掛け作りが必要です。</p> <p>・中心市街地で、小河川や歴史資源をネットワーク化し、地域資源を繋げるにより、「回遊性ある歩行空間」「歩きたくなる歩行空間」を整備することが必要です。併せて、ゲンジボタルが自生できる河川環境整備により、ゲンジボタルが舞う初夏に、回遊性を高めることが必要です。</p> <p>※前回都市再生整備計画の課題・反省点等</p> <p>平成17年度から平成21年度まで取り組んできた都市再生整備計画では防災機能強化や良好な住環境整備に取り組んできたことで目標値の達成に繋がった。しかし、目標値には反映されていないが、現在、守山市が抱えている既存住民と新住民(マンション住民等)、新住民同士のコミュニティ不足を解決する事業がなかったことが新たな課題となった。そこで、今回の都市再生整備計画では、これまでの取り組み成果を活かしつつ、新たな課題を踏まえ、『絆と活力ある「共生都市」の創造』を基本理念とし、コミュニティの再生・強化に取り組むことが必要です。</p> <p>将来ビジョン(中長期)</p> <ol style="list-style-type: none"> ①自然の恵みと歴史・文化・景観を活かしたまちづくり ②安全で安心して住み続けられるまちづくり ③すべての人がいきいきと暮らせるまちづくり ④にぎわいと活力のある魅力的なまちづくり ⑤市民とつくる協働のまちづくり

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値		
				基準年度	目標年度	基準年度	目標年度
歩行者・自転車通行量	人/日(平日)	中心市街地内の歩行者・自転車通行量(平日)について、同地点で調査された3地点の合計人数	「歴史回廊ネットワーク」や「水辺遊歩道ネットワーク」の形成や、バリアフリー化など来訪者が安全で、安心して、楽しく、快適に歩いてみたくなる環境を整え、街全体の魅力を高めます。このため、評価指標として「歩行者・自転車通行量(平日)」を設定することが、市民にとってわかりやすく、定期的に観測が可能な指標であると考えられます。	6,002人	6,200人	H19	H25
中山道の散策率	%	マンション住民のニーズや行動範囲に関する調査のアンケートにおける中山道の散策率	中心市街地のマンション住民を対象としてアンケートを行った結果、住民の半数以上が中山道を散策したことはありません。このため、「歴史回廊ネットワーク」の充実を図り、歩きたくなる環境を整え、中山道の散策率の向上を目指します。	43%	50%	H19	H25
市民交流センターの利用者数	人/年	市民交流センターの1年あたりの利用者数	市民交流センターでは協働のまちづくりを目指し、ボランティアやNPO活動の活性化・自立化を促進しようとするものです。中心市街地活性化により住民の活動が盛んになり、施設の利用者数が増加することを目指します。	9,684人	11,100人	H20	H25

都市再生整備計画の整備方針等

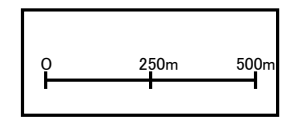
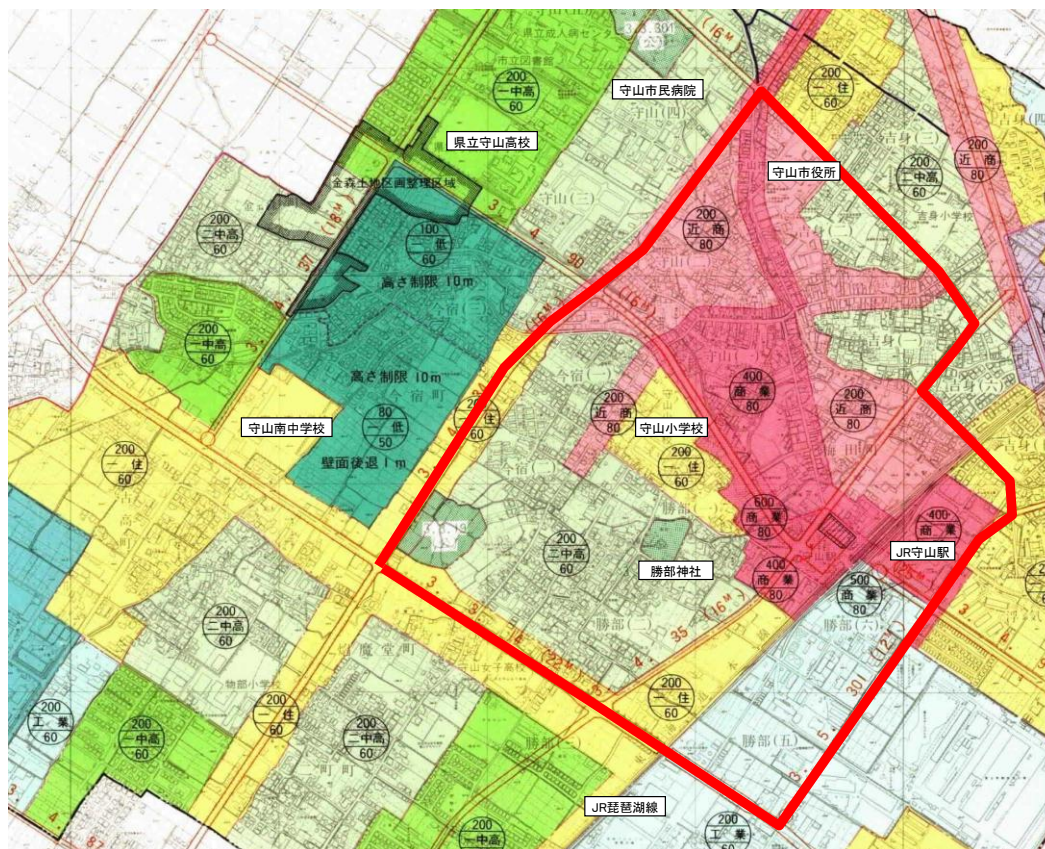
計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>1 子どもから高齢者まで幅広い世代が共生できるまち</p> <p>①守山小学校東交差点付近において親水公園を整備し、市民が交流できる場を提供する。 ②守山小学校・守山幼稚園を統合することより、幼・小の連携を図ることが出来、時代に即した教育施設や教育環境の整備が出来る。 ③守山小学校と守山幼稚園の合築に合わせ、公共施設(市民ギャラリー・特定高齢者の介護予防教室・多世代交流施設・地域活性化施設)を整備する。 ④町家を活用して守山の歴史文化の情報発信や物産販売を行う施設として整備する。 ⑤守山幼稚園跡地において、上記施設に訪れる市民や来訪者用の最低限の駐車場を整備する。</p>	<p>○親水公園整備事業 ○教育施設の統合化事業 ○福祉・文化・交流施設の複合化事業 ○歴史文化拠点整備事業 ○幼稚園跡地駐車場整備事業</p>
<p>2 住民参加により、地域資源を活かし、魅力的で歩いて楽しいまち</p> <p>①ぼたる通りおよび中山道の一部の区間において美装化を施した舗装を行う。 ②銀座通り、ぼたる通り、中山道において自動車交通を制御し、歩行空間を再検討する社会実験を行う。 ③自転車道の整備や自転車等の活用による円滑な移動手段を検討する。 ④各施設を看板表示および道路上案内で表示するものである。 ⑤街道交通史跡である「一里塚」は、現在道路の片側にしかないため、道路の両側に対になるように復元する。 ⑥新中山道において、市民が歩いて四季を感じることができる並木道づくりを行う。 ⑦中山道守山宿等地区計画区域内の沿道に面した建築物等において、地区計画および施工基準に適合した修景整備を行った場合に助成する。 ⑧中心市街地を流れる守山川、丹堂川、金森川において水辺遊歩道を整備する。 ⑨守山駅利用者の利便性と混雑緩和を図るため駅前シェルターの延長整備を行う。 ⑩市道駅前泉町線(福祉文化交流施設前)にある電柱電線類を地下埋設し、無電柱化路線とする。</p>	<p>○道路の美装化事業 ○安全・安心に歩ける環境整備検討 ○自転車の活用検討事業 ○分かりやすいサイン表示の設置事業 ○一里塚復元整備事業 ○四季を感じる景観形成の推進事業 ○中山道の街並み整備事業 ○水辺遊歩道ネットワークの形成事業 ○守山駅前シェルター整備事業 ○電線類地下埋設施設整備事業</p>
<p>その他</p>	

都市再生整備計画の区域

守山中心市街地地区(滋賀県守山市)	面積	146 ha	区域	守山一・二丁目、吉身一・二丁目、梅田町、今宿町、今宿一・二丁目、勝部町、勝部一・二・五・六丁目、浮気町、焔魔堂町
-------------------	----	--------	----	--

※ 計画区域が分かるような図面を添付すること。

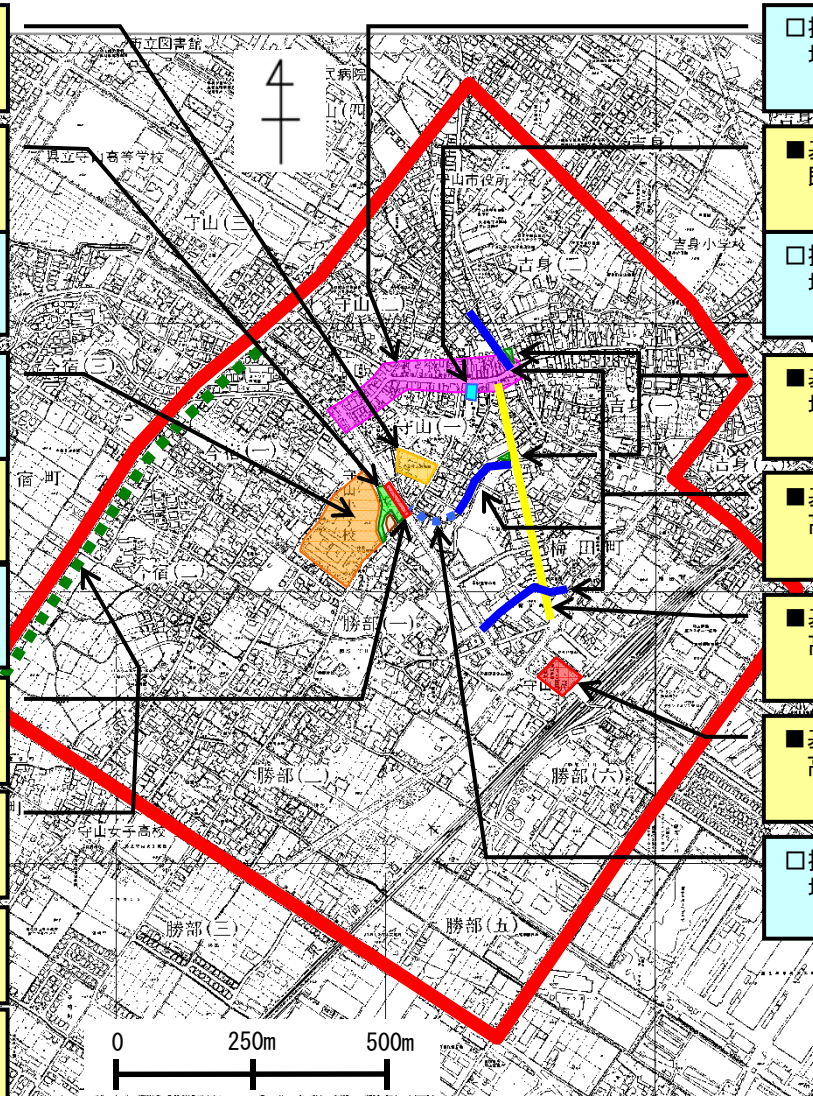
位置図



守山中心市街地地区（滋賀県守山市） 整備方針概要図

目標	『絆と活力ある「共生都市」の創造』	代表的な指標	歩行者・自転車交通量（人／日）	6,002（H19年度） → 6,200（H25年度）
			中山道の散策率（％）	43（H19年度） → 50（H25年度）
			市民交流センターの利用者数（人／年）	9,684（H20年度） → 11,100（H25年度）

- 基幹事業
地域生活基盤施設（駐車場）
・ 幼稚園跡地駐車場整備事業
- 基幹事業
公園
・ あまが池親水緑地整備事業
- 提案事業
地域創造支援事業
・ あまが池親水緑地整備事業
- 提案事業
地域創造支援事業
・ 教育施設の統合化事業（幼稚園）
- 基幹事業
高次都市施設（センター施設（地域交流センター））
・ 福祉・文化・交流施設の複合化事業
- 提案事業
地域創造支援事業
・ 福祉・文化・交流施設の複合化事業
- 基幹事業
道路
・ 福祉文化交流施設前無電柱化
- 基幹事業
道路
・ 市道二町播磨田線整備事業
- 基幹事業
地域生活基盤施設（情報版）
・ 分かりやすいサイン表示の設置事業
- 基幹事業
高質空間形成施設（歩行者支援施設）
・ 歴史回廊ネットワークの形成事業



- 提案事業
地域創造支援事業
・ 中山道の街並み整備事業
- 基幹事業
既存構造物活用事業（観光交流センター）
・ 歴史文化拠点整備事業
- 提案事業
地域創造支援事業
・ 歴史文化拠点整備事業（テナミックス事業等）
- 基幹事業
地域生活基盤施設（広場）
・ 水辺遊歩道ネットワークの形成事業
- 基幹事業
高質空間形成施設（緑化施設等）
・ 水辺遊歩道ネットワークの形成事業
- 基幹事業
高質空間形成施設（緑化施設等）
・ 道路の美化化事業
- 基幹事業
高質空間形成施設（歩行者支援施設）
・ 守山駅前シェルター整備事業
- 提案事業
地域創造支援事業
・ 金森川整備事業

凡例	
	基幹事業
	提案事業
	関連事業